HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	大平具彦略歴
Citation	CATS叢書, 2, 63-63 文化を読み直す――退職記念講演録 / 大平具彦著 = Rereading the Culture : Valedictory Lectures / Tomohiko OHIRA
Issue Date	2009-06-15
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/38690
Type	bulletin (other)
File Information	CATSLibrary02-bio.pdf

Instructions for use

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

大平具彦略歴

大平具彦（おおひら　ともひこ）

1945 年富山県生まれ。北海道大学名誉教授。

東京外国語大学（フランス語科）卒業。東京都立大学大学院博士課程（フランス文学専攻）中退。同課程在籍中、フランス政府給費留学生としてニース大学に留学し、ダダ運動の著名な研究家ミッシェル・サヌイエ教授に師事。北海道大学言語文化部教授を経て、北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院教授。専門は、表象文化論、国際地域文化論。

主な著書に、『モダニズム研究』（共著、1994、思潮社）、『トリスタン・ツァラ――言葉の四次元への越境者』（1999、現代企画室）、『モダニズムの越境』（全 3 巻、共著、2002、人文書院）、『20 世紀アヴァンギャルドと文明の転換――コロンブス、プリミティヴ・アート、そしてアラカワへ』（2009、人文書院）。翻訳に、ミッシェル・サヌイエ『パリのダダ』（共訳、1974、白水社）、トリスタン・ツァラ『トリスタン・ツァラの仕事 II――詩篇』（共訳、1989、思潮社）、ジャック・ブーヴレス『哲学の自食症候群』（1991、法政大学出版局）、アンリ・ベアール／ミシェル・カラスー『シュルレアリスム証言集』（共訳、1997、思潮社）など。